



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和2年5月1日 第2号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



学校から元気を届ける

校長 小野満 賢

日本政府は4月16日、緊急事態宣言を全国に拡大しました。これはご存じの通り、大型連休で旅行者が地域を越えて移動することで新型コロナウイルスの感染が広がるのを防ぐためです。小笠原村は4月の早い段階に「来島自粛要請」を行い観光客の来島の制限をかけるとともに、おがさわら丸も着発便を解除し平常運行に戻しました。その結果来島者は激減し、村内放送で聞こえてくる乗船客数は未だかつて無い少なさです。

観光客がほぼ不在の小笠原は、必要最低限の経済活動が行われてはいますが、多くの飲食店はテイクアウトのみの営業にシフトするとともに、村内のさまざまな行事や活動についても延期や中止が相次ぎ、いつもの年の春先の盛況ぶりは陰をひそめています。

そんな中、小笠原村立学校は4月15日に再開しました。小笠原中学校の入学式には31名の新入生全員が保護者とともに出席しました。担任の呼名に大きな返事をし、これから始まる中学校生活への大きな期待を感じました。代表生徒の誓いの言葉にも前向きで強い決意が込められていました。また、その日の午後には新2年生・3年生が登校し、新たな学年の担当の先生の紹介と、次の日からの本格的なスタートに向けての準備を行いました。修了式から三週間を経ての登校となりましたが、生徒たちの笑顔があふれ、弾む声が響いてこそその学校だと改めて感じました。

日本中の学校の多くが3月から始まった臨時休業を今も継続しています。政府はその期間を連休明けの5月6日までと区切ってはいますが、臨時休業を解除する明確な理由がなかなか見当たりません。

小笠原村立学校の児童・生徒たちは、多少の制限や我慢を強いられる場面はあるものの、元気に毎日学校に通うことができます。私たち学校の教職員もまた、児童・生徒とともに、授業をはじめ様々な教育活動を行えていることの喜びを感じています。小笠原村立学校のこの姿は、1000キロ南にある離島でありながら、再開の日を待つ全国の学校の希望の光であるとともに、もちろん感染リスクはゼロではないものの、水際でウイルスを押さえ、予防を徹底し、子どもたちを学校に通わせることができる村の方々全員の誇りであると思います。だからこそ生徒たちが「笑顔で学校に通うこと」や「元気なあいさつを率先して行うこと」こそが、村の方々の励みになり、力となり、自信となり、そして村の方々を元気にすることだと私は心から思っています。

4月20日（月）朝礼

「学校再開は村の誇り」

学校から元気を発信しよう

①笑顔で登校

②元気なあいさつ

Let's
😊😊😊 yeah!



(校長室前の掲示から)

先の見通しが立たない毎日が続きますが、新薬の開発に向けて日夜研究を続けてくださっている方々、最前線の医療施設で患者さんと向き合っている方々、我々の生活を支えてくださっている多くの方々への感謝の気持ちを表すとともに、そう遠くない未来に、新型コロナウイルス感染症が決して怖い病気では無くなり、普段通りの生活が戻ってくることを信じています。

それまでの間、皆で力を合わせてコロナを予防し、日々の生活を大切にしていましましょう。

令和2年度 第52回 入学式

副校長 坂本 司

令和2年4月7日(火)に予定していましたが「令和2年度 第53回 入学式」を、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から4月6日(月)から臨時休業になったことにより、4月15日(水)に延期して挙行了しました。新たな決意と希望にあふれる31名の新入生を迎えました。

令和2年度新入生 男子17名 女子14名 計31名

1		10		21		30	
2		11		22		31	
3		12		23		32	
4		13		24		33	
5		14		25		34	
6		15		26			
7		16		27			
8		17		28			
9				29			

(敬称略)



新入生 誓いの言葉

暖かい日が増え、ピーデの花が咲き始めた今、私たち新入生31名は、小笠原中学校に入学します。

新しい勉強や部活動も始まり、少し不安や緊張もありますが、楽しみな気持ちもあります。

私は、何事も諦めず、たくさんのことに挑戦したいです。そのためにいろいろなことを積極的に行っていきます。

勉強では、苦手な数学をたくさん勉強して、期末テストで目標の点数を取りたいです。他の教科もしっかり勉強をして、授業のスピードに追いついていけるようがんばります。

部活動では、美術部に入りたいです。私はもともと絵を描いたり、工作をしたりするのが好きで、部活動体験の時に美術部に行ってとても楽しかったので、美術部に入ったら、絵と工作をもっと上手になりたいです。

普段から勉強などでお世話になる先生方、部活動や委員会でお世話になる先輩方、どうぞよろしくお願い致します。

私たちは、この中学校生活3年間でいろいろなことに挑戦して、信頼される優しい人間になりたいです。

令和2年4月15日 新入生代表

入学式 学校長式辞（抜粋）

（前略）さて、入学した皆さんに、私が期待することを伝えたいと思います。まずは、皆さんには将来、世界を相手に活躍する人になってほしいと思っています。自分のことだけではなく、自分たちの住む小笠原や日本のためだけでなく、世界のこと・地球のことを考え、行動できる人になってほしいのです。もちろん日本を飛び出して、世界を飛び回り活躍する人もいるかもしれませんが、しかし、先日話題になった5Gのように、移動通信システムが発達した現代では、どこにいても世界中の情報を集め、深く学ぶことができます。たくさんの人たちとコミュニケーションを図ることもできます。つまり、小笠原にいながらにして仲間を集め、世界中の人が幸せになる方法を探り、世界中に発信することもできるわけです。一昔前は不可能だったことが、これからの時代は間違いなく可能になるのです。

そんな時代に生きる新入生の皆さんに、その可能性を広げるために中学生として努力して欲しいことを三つ言います。

まず一つ目は、「何事にもチャレンジすること」です。

中学校の三年間は、心も身体も大きく成長する時期です。自分の得意なものだけでなく、ちょっと苦手だと思うことでも、チャレンジしてみることが大切です。自分でも気付いていなかった才能を開花させ、大きく成長させることができるかもしれません。始める前から「できるわけがない」とか、「今までやったことがないから」とか、決して自分で限界を決めることなく、可能性を信じて、そして失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

二つ目は、「思いやりの気持ちをもつこと」です。思いやりとは、相手の立場に立って考えること、相手の気持ちを大事にして行動することです。嬉しいときにはともに喜び、困ったり悩んだりしているときには声をかけ、その人のために自分ができることはないか、そんなことを考えられる人になってほしいのです。もちろん自分がされて嫌なことは人に絶対にしてはいけません。相手を思いやる行動を重ねていくことで、人との関係はよりいっそう強くなると思います。小さい頃からずっと一緒という人も多いと思いますが、中学生になると、今までと違った個性も見えてくるはずですが、その個性を認め、互いに高め合いながら、大きく成長して欲しいと願っています。

三つ目は、「常に感謝の気持ちを持ち、それを言葉に表すこと」です。中学生になると、私も遠い昔そうだったのですが、大人から手助けが無くても自分一人でも何でもできるという思いを持ちやすくなります。その一方で、本当は助けてほしいのに、素直に助けて欲しいと言えない自分にもどかしさを感じる時期でもあります。自分の家族をはじめ、周りの人たちに、言うのはちょっと照れくさいとは思いますが、皆さんのためにいろいろと援助してくれる人にぜひ感謝の言葉を伝えて欲しいのです。言葉で伝えないとその気持ちはなかなか伝わりません。「ありがとう」という言葉は、魔法の言葉です。たった五文字ですべての思いが伝わりお互いに温かい気持ちになるからです。ですから、ちょっと無理してでも、ぜひ言うてみてください。きっといろいろなことがうまくいくきっかけになると思います。（中略）

さて、現実を目を向ければ、新型コロナウイルスへの感染は拡大し、多くの人々の生命が奪われ、世界中が深い悲しみを抱えています。幸い、小笠原には感染者は出ていませんが、気を緩めること無く、できる限りの感染防止策をとらなければなりません。

新たな治療薬やワクチンの開発に向けて、国境を越えて手を携え、日夜努力をしている方々があります。医療現場や関連施設で自らの危険を顧みず、全力でこの新型ウイルスに立ち向かっている方々もいます。最前線で頑張ってくださっている多くの方々に感謝の気持ちを表すとともに、何とかこの苦しい時期を脱し、日常を取り戻す日ができるだけ早く訪れることを心から願っています。この現実を受け止め、学校でもみなさんに我慢をしてもらうことがあります。楽しみにしていた部活動、合唱や吹奏楽もしばらくは我慢です。中学生になった皆さんに、私たちがあげたいことがたくさんあるのですが、それはこの新型コロナが終息するまで待っていてください。

きっとそう遠くないその日に向けて、今自分たちができることをしっかりと行っていきましょう。先送りにせず、今日できることは今日のうちに、そういう毎日を重ねていくことが大切だと思います。（後略）

令和2年度 前期 生徒会 役員会 委員会 名簿

	第1学年	第2学年	第3学年
役員会			
学級委員			
生活委員			
美化委員			
保健委員			
放送委員			
図書委員			
体育委員			
福祉委員			
選挙管理委員			

◎委員長 ○副委員長 ◇書記 (敬称略)

5月の行事予定

1日 (金) 保護者面談終 3日 (日) 憲法記念日 4日 (月) みどりの日 5日 (火) こどもの日 6日 (水) 振替休日 2週間学習プログラム終 7日 (木) 生徒会朝礼 職員会議 SC勤務 自転車安全点検 8日 (金) 避難訓練 生徒会総会リハーサル 11日 (月) 安全指導 生徒会総会 13日 (水) 食育講話 14日 (木) SC勤務	15日 (金) 夜明山戦跡調査事前指導 (2年) 18日 (月) 学校朝礼 夜明山戦跡調査事前学習 (2年) 19日 (火) 夜明山戦跡調査 (2年) 20日 (水) 芝生の日 21日 (木) SC勤務 25日 (月) 学校朝礼 夜明山戦跡調査予備日 (2年) 26日 (火) お弁当の日 テスト計画 27日 (水) 校内研修 28日 (木) SC勤務 プール清掃 各種・中央委員会 29日 (金) AED講習 30日 (土) PTAノロ落とし (予備日31日)
---	---

令和2年4月7日に東京都を含む7都府県に新型コロナウイルス感染症に関する「緊急事態宣言」が発令され、感染拡大を受けて令和2年4月16日には対象地域が全国に拡大されました。東京都教育委員会からの感染症予防ガイドライン(都立学校版)及び小笠原村教育委員会からの通知等を踏まえ、教育活動・行事等については引き続き以下のような感染リスクへの対策を講じていきます。

- ・朝礼、集会等、全校生徒が集まる活動は、前庭または体育館で、十分な間隔を空けて実施します。
- ・昼食は、対面ではなく前向きで食べます。
- ・グループや少人数による話し合い、教え合い活動については、空間・人数・距離に配慮して実施します。
- ・保健体育の授業は、身体接触、飛沫感染を伴う活動は行いません。また、体育館で実施する場合は十分な換気を行います。
- ・音楽の授業は、歌唱や吹奏楽等の活動は、当面の間実施しません。
- ・家庭科の授業では、調理実習は、当面の間実施しません。
- ・4月の保護者会は、中止とし、保護者面談をもって代えさせていただきます。
- ・第1学年母島移動教室及び総合発表会、全学年の村学力調査、オリンピック・パラリンピック観戦は、延期とします(日程未定)。
- ・第2学年硫黄島訪島事業、全国学力・学習状況調査、東京都児童生徒の学力向上を図るための調査は、中止となりました。